



さかいぎ

チャレンジアップ! かがやく自分

5月号

令和8年4月30日
横浜市立境木小学校
校長 阿山 美香

境木小学校 HP

[ホーム - 境木小学校](#) ▶ [クリック!](#) 子どもたちの生活をお伝えします。

みんなの力で

副校長 寺園 敦子

新年度が始まり、一か月が過ぎようとしています。校内を回っていると、子どもたちが新しい環境の中で意欲的に学校生活を送っている様子が伝わってきます。「何かな」「不思議だな」を一生懸命に探している1年生の姿。朝一番にクラスに配付するものを職員室まで取りに来る子や、初めての委員会活動で自分の役割を確認している子、どちらも責任をもって取り組もうとする気持ちが伝わってきます。そして、今年度も「おはようございます」「こんにちは」と、気持ちのよいあいさつをしている境木の子どもたち。そのような姿を見ていると、自然と笑みがこぼれてきます。

4月17日(金)に、「1年生を迎える会」を行いました。6年生が、1年生と手をつないで入退場をしました。入退場の時だけでなく、「1年生を迎える会」の間、1年生に寄り添い見守り、声をかける6年生の姿を見て、「最高学年になったのだな」と感慨深いものがありました。2年生から5年生もそれぞれの役割をしっかりと果たしていました。「境木小〇×クイズ」や「じゃんけん列車」に取り組む子どもたちの様子は、「1年生に境木小学校を知ってもらいたい」「1年生と仲よくなりたい」という気持ちが溢れていました。1年生も仲間入りし、今年度の活動が本格的にスタートしたと感じました。

境木小学校は、今年度も「チーム学年」「チーム学校」として教職員が連携しながら子どもたちを支えていくことを大切にしていきます。一人の担当だけでなく、学年、学校全体で子どもたちの成長を見守り、支援していきます。こうした取り組みをよりよいものにしていくためには、家庭や地域の皆さまとの連携が欠かせません。子どもたちは、学校だけでなく、家庭や地域の中で多くのことを学び育っていきます。

4月初めに、放課後の子どもたちの過ごし方について、地域の方から意見をいただく場面がありました。公園にごみをそのまま置いてしまうことや、他人の敷地への立ち入り、いわゆる「ピンポンダッシュ」など、子どもにとっては遊びのつもりであっても、相手に迷惑になったり、不安を与えてしまったりする行為が見られるということです。社会の中で安心して生活していくためにはどのようにしていったらよいか、起こった問題を保護者、地域とも連携し、解決していきたいと思えます。トラブルをチャンスに変えるために、そして子どもたち自身の成長につなげるために、我が身を振り返り、うまくいかなかった原因を相手にだけ求めるのではなく、自己調整できる力を身に付けていけるようにしたいです。さまざまな大人との関わりの中で社会性を育てていけるよう、ご協力の程、よろしく願いいたします。

